

平成20年2月

# 内山仁志 学位論文審査要旨

主査 小川敏英  
副査 大浜栄作  
同 大野耕策

## 主論文

Neural substrates of sarcasm: a functional magnetic-resonance imaging study

(皮肉に関する神経基盤：機能的磁気共鳴画像法を用いた研究)

(著者 内山仁志、関あゆみ、景山博子、齋藤大輔、小枝達也、大野耕策、定藤規弘)

平成18年12月 Brain Research 1124巻 100頁～110頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は健常成人被験者を対象に機能的磁気共鳴画像法(fMRI)を用いて、皮肉の検出に関わる神経基盤を検討したものである。その結果、皮肉の検出に関わる神経基盤は他者の心的状態を忖度するmentalizing処理、および言語の意味理解処理に関わる神経基盤と密接に関係することを明らかにした。本論文の内容は、認知言語学領域の語用論に関する基礎的研究として、また自閉症、統合失調症、前頭葉損傷など臨床的に語用論障害を呈する疾患の病態解明につながる研究として極めて重要と考えられ、明らかに学術水準を高めたものと認める。